

# 岩沼出張所つうしん

第 53 号  
 平成 17 年 12 月 20 日  
 仙台河川国道事務所 岩沼出張所  
 岩沼市館下 1 丁目 2 - 9  
 TEL 0 2 2 3 - 2 2 - 2 8 0 1

## 阿武隈川押分地区堤防整備工事」工事説明会を開催

12月7日(水)早股上集会所において、「阿武隈川押分地区堤防整備工事」の工事説明会を開催しました。関係者、岩沼市、岩沼出張所、請負業者の総勢13名の説明会でしたが、地元関係者からは、「河口まで一日も早く、堤防を完成させてほしい。」とする要望が出されました。

当初は、基盤漏水に対する止水矢板を計画しておりましたが、詳細なボーリング結果から、基礎地盤が、砂質土ではなく粘性土であることが判明し、今回の工事では、堤防法面の崩壊を防止するためのコンクリートブロック護岸を施工する工法に変更になりました。また、施工延長も180mから、約265mまで延長されました。



春山建設による工事内容説明

## 荒浜地区築堤工事」工事説明会を開催

12月8日(木)亘理町勤労青少年ホームにおいて、「荒浜地区築堤工事」合同工事説明会を開催しました。関係者、亘理町、岩沼出張所、請負業者等総勢35名の説明会となりました。その中で、関係者からは、次のような要望が出されました。

工事の説明会をもっと早く開いてほしかった。工事は騒音や振動を出さないで、施工してもらいたい。天端から高水敷に降りる階段を1箇所、増やしてもらいたい。堤防が高く大きくなり、堤防に降った雨が、今までより多く屋敷内に流れてくるため、堤脚側溝を施工してもらいたい。

また、堤防からの浸透水を処理してもらいたい。

工事中の家屋損害に備え、家屋調査を実施してもらいたい。パラペットの壁高は、既設の110cmを確保してもらいたい。

以上の要望等については現地等を調査の上、改善できるものは改善していきたいと思ひます。また、時間的に厳しいものは、荒浜築堤が完成後に、平成18年度以降の予算をあて、整備していきたいと考えています。

なお、工事中は現在の堤防上が、重機やダンプトラック等の通行で大変危険な状況です。散歩等の皆様は、工事箇所への立ち入りをご遠慮願ひますよう、ご協力をお願い申し上げます。



「荒浜地区築堤工事」の合同説明会の様子

工事短信	
工事名	岩沼地区河川管理施設修繕工事
工期	H.17.9.28 ~ H18.2.20
請負者	井上建設(株)

工事短信	
工事名	阿武隈川下流荒浜地区築堤工事
工期	H.17.11.11 ~ H18.3.28
請負者	熱海建設興業(株)

工事短信	
工事名	阿武隈川下流亘理地区築堤工事
工期	H.17.11.12 ~ H18.3.28
請負者	野村建設(株)

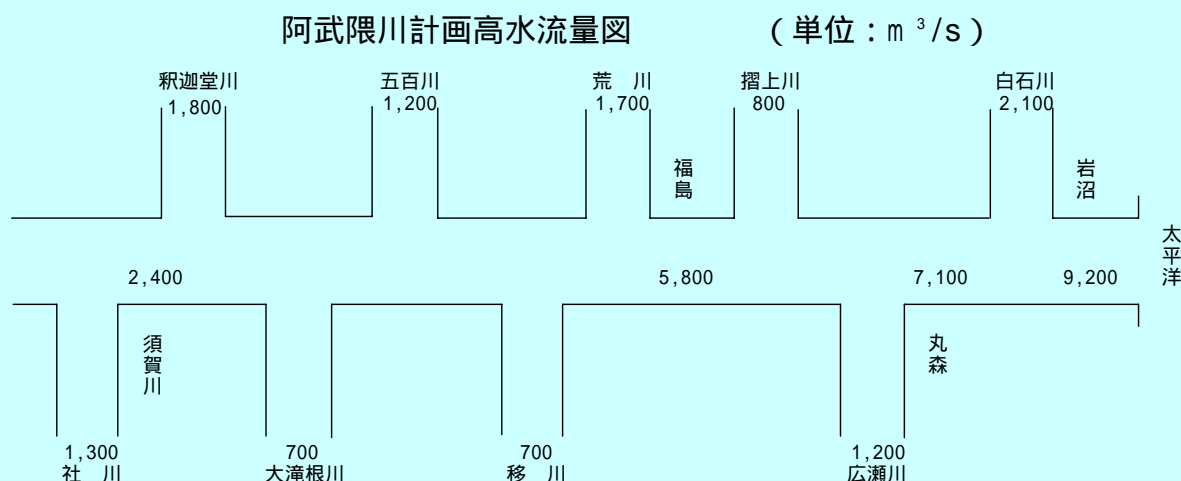
工事短信	
工事名	阿武隈川下流荒浜地区堤防天端工事
工期	H17.12.14 ~ H18.3.28
請負者	阿部春建設(株)

# 阿武隈川水系河川整備基本方針 (第11回)

第11回目は、主要地点における計画高水流量、計画高水位、計画横断形の川幅に関する記載です。主要地点は、水位流量観測地点、各支川の流量は、計画時の阿武隈川への流入量です。また、各地点の数値は河口からの距離、計画高水位（標高）、計画堤防を造ったときの川幅です。

## (2) 主要な地点における計画高水流量に関する事項

計画高水流量は、須賀川において $2,400\text{ m}^3/\text{s}$ とし、釈迦堂川、大滝根川、五百川、移川、荒川等の支川の流量を合わせて福島において $5,800\text{ m}^3/\text{s}$ とし、さらに摺上川、広瀬川等の支川の流量を合わせて丸森において、 $7,100\text{ m}^3/\text{s}$ 、白石川等の支川の流量を合わせて岩沼において $9,200\text{ m}^3/\text{s}$ とし、河口まで同流量とする。



## (3) 主要な地点における計画高水位及び計画横断形に係る川幅に関する事項

本水系の主要な地点における計画高水位及び計画横断形に係る概ねの川幅は、次表のとおりとする。

主要な地点における計画高水位及び川幅一覧表

河川名	地点名	河口又は合流点からの距離(km)	計画高水位(T.P.m)	川幅(m)
阿武隈川	須賀川	147.8	237.49	170
	福島	77.2	63.93	200
	丸森	37.0	23.10	230
	岩沼	8.0	8.14	710

注) T.P. : 東京湾中等潮位

### —あとかき—

2005年も押し迫って参りました。読者の皆様のこの1年は、いかがだったでしょうか。阿武隈川のこの1年は、台風の上陸が平年並みとなり、出水も少なく推移しました。また、コイヘルペスや油の流出等の水質事故も少ない年でした。渇水等の影響もなく安定した1年と総括することができます。しかし、角田市や阿武隈川河口で、漁業やつり等を行っている中、水死する痛ましい事故が2件発生しました。河川での行動では、自分の命を守る救命胴衣は着用して、行ってもらいたいものです。来年は、災害、事故等がもっと少なくなるようにお祈り申し上げます。

「岩沼出張所つうしん」はインターネットでも見られます  
 仙台河川国道事務所ホームページ <http://www.thr.mlit.go.jp/sendai/index.html>

